

Campus tree

森本恵(社会デザイン系2回生)

キーワード：地域交流，地域活性化，つながり，灯り

1. 団体概要

Campus tree は、「灯り」をキーワードに地域の方々との「つながり」を大切にしながら、一緒に空間をデザインする活動を主に行っている。「灯り」を軸にしたキャンドルナイトの実施の他、プロの講師の方々にご指導して頂きながら古民家内の土壁を修繕する土壁ワークショップの開催を通して、地域の方々と交流活動をする、兵庫県立大学の学生による学生団体である。現在は2年生13人、1年生8人の計21人で活動している。

2. 2025年度の活動

2025年度の主な活動を表1にまとめた。昨年度と同様、エコフェスや土壁ワークショップ、あぼしまちカフェクリスマスに加えて、新たなイベントにも参加させて頂いた。

表1 2025年度の活動

3月	さくらキャンドルナイト
4月	土壁ワークショップ
5月	春フェス 新入生歓迎会
7月	エコフェス オープンキャンパス
11月	工大祭
12月	土壁ワークショップ あぼしまちカフェクリスマス

2.1 土壁ワークショップ

土壁ワークショップには、2025年度は4月と12月の2回参加させて頂いた(写真1)。兵庫県福崎町にある国登録有形文化財である旧小國家内の土壁の修復をお手伝いする活動であり、お世話になっている福崎町の旧小國家の所有者や左官の方のご指導の下、泥団子を作って土壁の基礎を作る作業から瓦をのせる作業まで、4月のワークショップでは

地域の方々とも共に活動し、コミュニケーションを取りながら作業することができた。ワークショップを通して、講師の方々や地域の方々とはもちろんのこと Campus tree のメンバーとも仲を深める機会になり、楽しく交流することができ、大変良い経験になった。



写真1 土壁ワークショップ

2.2 あぼしまちカフェクリスマス

例年通り、あぼしまちカフェクリスマスにも参加させて頂いた(写真2)。昨年と同様ワークショップとキャンドルナイトを行い、1日を通して地域の方々と交流した。ワークショップでは、昨年と同様アロマキャンドルストラップづくりを行った。当日までに試作をした上で、子供たちにも安全に楽しく体験できるように行った。キャンドルナイトでは、クリスマスコンセプトにLEDキャンドルと色付き瓶の配置、デザインを事前に考え、昼頃から準備を始め、平面的なクリスマスデザインの他に木製の椅子や箱を使用し立体的な飾りも作成した。イベントの終盤には、寒い中ではあったが、LEDキャンドルの点灯を地域の方々にもお手伝い頂き、その後はクリスマスモチーフのキャンドルと共に写真撮影をして頂き、多くの方々に楽しんでもらうことができた。



写真2 あぼしまちカフェクリスマス

2.3 さくらキャンドルナイト

昨年度末の活動にはなるが、コロナ禍により中止が続いていたイベントに参加させて頂いた(写真3・4)。参加したメンバーは全員このイベントに参加経験はなかったが、これまでの活動の経験をもとに地域の方々と交流をすることができた。こちらのイベントでもキャンドルナイトとワークショップを行った。ワークショップでは、メンバーが持ち寄った牛乳パックを使ってキャンドルホルダー作りを行った。また、さくらキャンドルナイトの主催の方々のワークショップのお手伝いもさせて頂き、多くの方々と交流する機会を得ることができた。キャンドルナイトでは、イベントに来てくださった方々と共にキャンドルに灯りをともし、ワークショップの中で出会った子供たちが話しかけてくれることもあり、活動の中でしっかりとコミュニケーションを取ることができていると感じた場面であった。

3. 活動を通して学んだこと

私たちは Campus tree の活動を通して、コミュニケーションを取ることの大切さを学んだ。イベントの連携先の方々との話し合いもそのひとつであるが、メンバーとのコミュニケーションをあまりとることができていなかったと振り返って考えた。その要因として、活動の回数が少ないことであったり、活動に参加するメンバーが限られていたりすることが挙げられる。そのため、コミュニケーションを取って、Campus tree 内の考えの共有を行うことが必要であると考え。イベントの連携先の方々とは、相手側と Campus tree 側の現在の状況を伝えること



写真3 さくらキャンドルナイト



写真4 さくらキャンドルナイトワークショップ

やイベント前に下見に行き、直接話すことで円滑に物事を進めることができたと感じる。

4. 今後の展望

今後の展望としては、2つのことが挙げられる。

1つ目は、新たなイベントへの参加である。これまでの活動は先輩方が繋いできて下さった連携先の方々と継続した活動や、その方々が新たなイベントへの参加依頼をしてくださって行っているものである。けれど、夏の時期に活動がなく、メンバーとの交流も希薄になってしまうため、今までの活動にもより一層力を入れながら、新たなイベントに参加して挑戦していきたい。

2つ目は、広報の活発化である。SNSを中心に Campus tree の活動を発信していくことで多くの方々の目に留まれば、今よりも多くの活動を行うこと、地域を活性化することにつながるのではないかと考えている。